

選考評価のチェックポイント

●認知症サポーターの活動事例

- ①多職種のメンバーで構成され、各サポーターの属性、特色を生かしているか。[多職種構成]
- ②自治体等地域の関係機関との連携が図れているか。[連携]
- ③地域の実情に応じた工夫がなされているか。[工夫]
- ④地域における認知症の人・その家族が活用しやすい機能を備えているか。[活用のしやすさ]
- ⑤活動地域で受け入れられ、評価されるべき活動実績があるか。[活動実績]

●企業・職域団体における「認知症サポーターキャラバン」取り組み事例

- ①自治体等地域の関係機関との連携が図れているか。[地域との連携]
- ②地域における認知症の人・その家族が活用しやすい機能を備えているか。[活用のしやすさ]
- ③企業・団体内での連携のしくみが備わり、情報や課題の共有が図られているか。
[組織内連携]
- ④継続して実践するための計画、体制が整っているか。[継続性]
- ⑤業務の特徴に応じた工夫がなされているか。[業務の特性]

●「チームオレンジ取り組み事例」

- ①多職種の認知症サポーター、認知症の人やその家族等のメンバーにより構成され、各メンバーの属性、特色を生かしているか。[メンバー構成]
- ②活動拠点を設ける等、地域の認知症の人が随時参加しやすい配慮がなされているか。[居場所の確保]
- ③チームメンバーがやりがいをもって継続した活動ができるように考慮したステップアップ講座を実施しているか。[講座]
- ④自治体等地域の関係機関や生活関連企業等との連携が図れているか。[連携]
- ⑤地域の実情に応じ、認知症の人やその家族が必要としている活動を行う工夫がなされているか。[工夫]